

青垣

創造・誠実・鍛錬

生命を大切にし、坂本を愛し、夢の実現に向かって
自ら学び続ける生徒の育成

～ 自他共栄 ～

八代市立坂本中学校
学校便り
令和8年9月4日発行
校長 黒木 崇博

「一歩前進」を合言葉に

Sakamoto

今回の地震により被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

まずは、本校の生徒全員が無事で安心しました。一方で、地震により不安や怖い思いを抱え、今でも通常どおりの生活ができていないご家庭もあられます。改めて、当たり前の日常を送ることのありがたさや、家族や地域の方々とのつながりの大切さを考えさせられました。学校におきましても、子供たちの安全を第一に考え教育活動を進めてまいりたいと思います。

さて、始業式では、2学期の合言葉を「一歩前進」という話をしました。昨日の自分より少しでも成長し、苦手なことに挑戦する一歩、最後まであきらめずにやり抜く一歩、を積み重ねていってほしいと思います。特に、2つのことを子供たちにお願ひしました。1つめは、「挑戦すること」。まずは失敗を恐れず自分でやり抜いてほしい、一歩踏み出してほしいと思います。私自身も、新しいことに挑戦する気持ちを忘れず、子供たちとともに成長していきたいと考えています。2つめは、「時と場を考えた言動」です。人との関わりが増える2学期だからこそ、自分の言葉や行動が相手にどのような影響を与えるのかを考え、相手を思いやる気持ち、その場にふさわしい言葉や行動を選ぶことができる人になってほしいと思います。2学期は文化的行事など多くの行事があります。一人一人が自分の学年、段階に応じた「一歩前進」できる学期になることを願っています。

保護者・地域の皆様には、引き続き本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。



みんなで乗り越えていく ～始業式での生徒発表～

始業式のはじめに「夏休みの思い出と2学期にがんばりたいこと」の生徒発表を行いました。1年生：馬淵なるみさん、2年生：杉田陽音さん、3年生：中村悠真くんが発表しました。「地震の際、子供だけで家にいたけれど、身を守ることができた。」、「当たり前の日々がいかに大切か分かった。」、「家にいることが多かったが、宿題が思うように進められなかった。」など、率直な感想を発表してくれました。

また、今回このような苦難があったけれども、「何事にも全力で取り組みたい。」、「みんなで乗り越えていきたい。」という気持ちも伝わってきました。周りの生徒、先生方も同じ気持ちでいます。引き続き、生徒も先生も坂本中全員で、一歩ずつ前進していきたいと思います。

